

志木第三小学校は、令和3・4・5年度の3年間にわたり、志木市教育委員会委嘱研究指定校として、「多様な学び方を生かした新しい学習活動の創造～聞き合い、伝え合い、深く考える児童を目指して～」を研究主題に、実践研究を推進してこられました。

研究初年度の令和3年度は「GIGAスクール構想を意識し、iPadの使用を含めICT関係で何ができるかを学ぶ」をテーマに、教科の枠を超えて全学級で研究授業を行うことで、聞き合い、伝え合い、深く考える力を身につけさせるための授業改善を図りました。そこで得た成果と課題を礎として、令和4年度は副題の「伝え合い」に重点を置いた内容、令和5年度は副題の「深く考える」に重点を置いた内容と、年度ごとにテーマを発展させながら研究を進めているところです。特に今年度は国語科に重点を置き、共栄大学教授 光野 公司郎 様に御指導を賜りながら、各専門部による組織的な活動によって、「国語コーナー」の設置や話し合い活動の工夫、国語科を中核としたカリキュラムマネジメントの促進など、具体的な方策を通して確かな学力を育成しております。これらの取組により、聞き合い、伝え合い、深く考える児童を目指した新しい学習活動の創造がなされているものと確信しております。

これらの取組と研究の成果が各学校に共有され、志木市全体での「多様な学びを生かした新しい学習活動の創造」へとつながることを期待しています。

結びに、本研究を進めるにあたり、岡 和香子 校長先生をはじめ、熱心に研究に取り組まれた教職員の皆様の御努力と、研究推進に御尽力賜りました関係者の方々に心から感謝申し上げます、あいさついたします。

校長 岡 和香子

関係各位の皆様のご支援を賜り、ここに志木市教育委員会委嘱による研究発表を開催できますこと、感謝申し上げます。

本校では「多様な学び方を生かした新しい学習活動の創造～聞き合い、伝え合い、深く考える児童を目指して～」をテーマに研究を深めてまいりました。

「多様な学び方」を「ICT 機器を含めたデジタルとアナログの利点を生かしながら学習の目的・目標に応じた学び方」と捉え、伝え合う活動を効果的に展開しながら、深く考える児童を育む授業を創造するために、研究に取り組んできたところです。本年度は、国語科を中心に、共栄大学教育学部教授 光野 公司郎 様にご指導をいただきながら、「深く考えるとはどういうことなのか」「深く考えられる授業とはどのような授業なのか」ということを繰り返し全教職員で追究してきました。悩むところが多く、まだ道半ばではございますが、3年目の集大成として、志木第三小学校の「深く考える児童の姿」を授業を通してお示しすることができればと思います。

本日は、研究成果を多くの教育関係者の皆様にご覧いただき、忌憚のないご意見を頂戴し、本校研究のまとめと更なる進展につなげてまいりたいと思います。

結びに、本研究の推進にあたり、ご指導とご助言を賜りました共栄大学教育学部教授 光野 公司郎 様、志木市教育委員会 柚木 博 教育長をはじめとする志木市教育委員会の皆様にご心より感謝申し上げます、あいさつとさせていただきます。